



若竹だよい

【巻頭言】

適応力

—危うい子どもの体力—

園長 野田大燈

若竹学園で異変が起きています。とは言っても妖怪が現れたり、喝破道場の石仏たちが夜な夜な野球をしている、と言うようなものではありません。(以前に石仏たちが野球に熱中し過ぎて朝が来てしまい、慌てて元の位置に坐ったつもりが坐る場所を間違えて坐っていた、と子ども達が大騒ぎしていたことがありました…)

都会育ちの子どもが大半の学園では、体験したことのないような遊びに夢中になります。最近になって復活したのが「ケイドロ遊び」です。警察官と泥棒に分かれて学園の斜面やクヌギ林の中で追っ駆けっこを繰り返すのです。問題なのが「怪我人続出」なのです。学園が開設されて 20 幾年になります、遊びに大きな変化はありませんが、駆けっこをして転倒して足の骨にヒビが入ったり、捻挫をしたり、擦り傷を作ったり、と言う事は殆どありませんでした。しかし近年、特に今年は負傷者が多いのです。その要因は体力不足と運動不足と分かりました。怪我を防ぐためにケイドロ遊びを中止にするか、と言うことを職員間で協議しましたが、怪我をしながらも子ども達は嬉々として走り廻っているのです。行政からお預かりしている大切な子ども達に怪我をさせてはなりません、元気な子供にするためには自然の中での駆けっこは有効です。観察していますと、怪

我をした経験のある子ども達は怪我をしないように立ち回っているのが分かりました。

他人から「怪我をしないように」と指示されなくても、痛い思いをするのは自分自身だから保身の術を無意識で学んでいるようです。気になりますのは現代っ子の多くが体力不足です。それは子ども達が体力を必要とする生活から遠ざかり、現代の環境に適応して来たからではないかと思えます。徳川家代々の顔写真を通して食生活の変化を説明していた展示会に参加したことがあります。徳川家の始祖である家康の顔は愕の張った四角い顔立ちでした。時代が近代になるに従って顔立ちも面長に変化していました。特に食生活が変化したのは元禄時代だそうです。今まで玄米が常食だったのが柔らかな白米へと変わることによって「噛む力」を必要としなくなったので、徐々に咬筋が退化して四角い顔が面長になった、と説明していました。人相学上では鰓(えら)の張った人は忍耐強い、となっていますが正論の様な気がします。元禄時代は町民文化の時代とも言われておりますが、食生活が急激に変化した時代とも言えるようです。今までは高価で入手も難しかった砂糖が一般的となり、銘菓や甘味食品が出回ったのでしょう。当時は地方から箱根峠を越えると「江戸患い」に、上方では「上方腫れ」と言う奇病に罹ると言われていたそうです。現代的に言うとビタミン B 欠乏による「脚気」だったようです。栄養過多による病気の原点は元禄時代にあるとは言え、現代っ子はそれにも増して運動不足が主要因かと思えます。若竹学園の野山を駆け廻ることが最大の「治療」と言えましょう。

潮干狩り



5 月 3 日のゴールデンウィークの真ただ中に潮干狩りに行きました。天気を見ると…あいにくの小雨。しかし、これでへこたれる若竹の園生ではありません。カッパに身を包んで、いざ出陣！！



雨の影響で、貝が取れるか心配してしまいましたが、いざ貝掘りをしてみると、次から次へとマテ貝やアサリが出現！！それもそのはず、ここは、若竹学園外出担当の職員が探してきた、潮干狩りの穴場なのです。沢山の貝がとれて大満足の行事になりました



**謎の生物の捕獲にも成功！
これは新種発見！？**



子どもの感想



中学 1 年生 女子

潮干狩りが楽しかった。スコップで掘っても、なかなか出て来なくて、30センチくらい掘ったら、やっと1個、2個とでてきてよかった！そんなに深い所にいるんだと驚いた。

野外炊飯

熊本の地震もあり、防災意識が高まる中、若竹学園でも、いざという時に備え、野外炊飯を数年前から定期的に行っています。

やるからには本格的な食事をと、出来あがったのがこのメニュー！！

お品書き	本日のスープ	クラムチャウダー	メイン	焼きそばの春巻きぞえ	ご飯もの	シーフードピラフ
------	--------	----------	-----	------------	------	----------



まさに和洋折衷のフルコース！さて、子どもたちは上手に作る事が出来るのでしょうか？



調理が始まると、皆さん真剣に野菜を切ったりと調理に励んでいます。その姿は、まさに料理人そのもの！！

そして、出来上がったのが、右の写真です！！
「これは、うまそう！！」
見ているこちらが食べたくなります。



最後は外でオシャレにランチタイム♪♪

子どもの感想



中学 1 年生 男子

最初はめんどうかなって思ったけど、やってみると面白かった。今年はタケノコ掘ったり、学園でしかできないことが出来てよかった。

6 月若竹学級だより

気分はパティシエ

5 月 6 日（金）に今年度第一回目の調理実習をしました。今回はイチゴタルトと蒸しパンを作りました。カスタードクリームと蒸しパンの生地を作るグループに別れて調理に取り組みました。友だちと作業を分担したり、交代したりしながら、うまく作り上げることができました。手作りの良さや楽しさも実感できたことでしょう。みんなのイチゴを一つ一つ丁寧に切ってくれた子、ジュースをみんなのコップに均等になるようにつぎ分けてくれた子、頼まれるとすぐに使った器具を洗ってきてくれた子など、子どもたちの良さにも気付くことができました。



テストに臨む

中学生は、5 月 12・13 日に 1 学期中間テストがありました。1 年生は、中学校に入ってから初めての本格的なテストということで緊張した様子でしたが、どの学年の生徒もテスト勉強に自主的に取り組み、本番でも自分の力を出し尽くそうと真剣に取り組む姿が見られました。中学 3 年生は高校進学に向けて着々と準備を進めています。その姿を見て、他の学年の子どもたちもがんばっています。

小学生も、2 日間にわたって国語と算数のテストを行いました。よい点数をとろうと自分なりにがんばっていました。

目標に向かって努力を重ね、ここぞという時に自分のもてる力を十分に発揮できるようになってほしいと思います。



初めての焼き板作り

園長先生からお遍路さんのための案内板を作ってくれないかという依頼が小学生にあり、焼き板で作ることにしました。5 月 19 日、若竹学園近くの五色台少年自然センターで製作に取り組みました。

板を真っ黒に焼き、たわしでこすって炭を落とすと美しい木目模様がくっきりと浮かんできて、子どもたちは夢中になって作業に取り組んでいました。予想以上の仕上がりに子どもたちも満足していました。

そして、この焼き板を学園に持ち帰り、字やイラストを描いて仕上げました。近々遍路道に設置する予定です。



少年自然センターの職員の方々とはこの日が初対面でしたが、近くに暮らしている子どもたちのことを応援してくれていることを知る機会ともなりました。



生き物通信



新しい仲間が登場しました！！

カナヘビやザリガニ、金魚など色々な生き物を飼っていますが、その中にトノサマガエルが新しい仲間として加わりました！！

トノサマガエルについて調べてみると、3年～5年生きることが出来るそうです。大事に育てていきたいです♪♪



はじめまして。
5月から仲間になりました。

農園だより

農園の野菜がスクスクと育っています。ジャガイモはもうすぐ収穫できるようです。学園での楽しみが、また一つ増えました。



キャベツ



ニンジン



ジャガイモ



レタス

～御寄附ありがとうございました～

たまや様からタオルの寄付を頂きました。ありがとうございました。

行事

3日	潮干狩り	7日	野外遊び
4日	たけのこ取り	19日	買物学習
5日	野外炊飯	21日	太鼓・図書館学習

在籍人数 平成 28 年 5 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	0	2	2
	中学生	4	7	11
	その他	0	0	0
	計	4	9	13
女 子	小学生	1	1	2
	中学生	3	1	4
	その他	0	0	0
	計	4	2	6
合計		8	11	19

編集後記

生き物を育てたり、タケノコを掘ったり、ここでしかできない経験が子どもにとっての財産になればと思います。

セラピスト 西塚恭祐

第 268 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈